

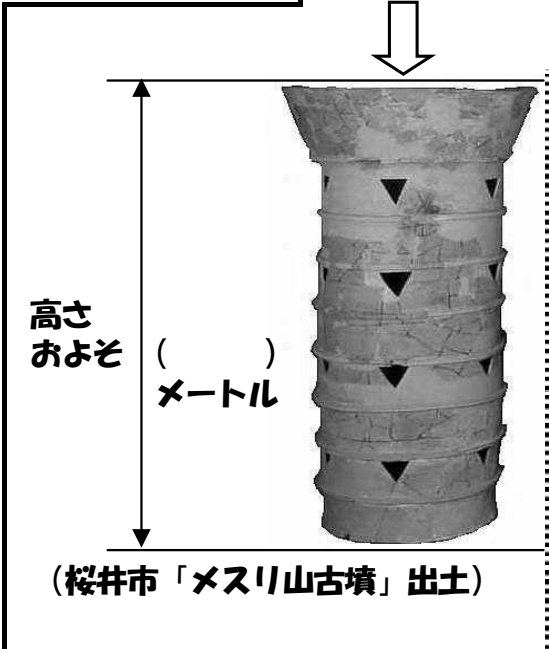
# はにわ「埴輪」について調べよう

「埴輪」は、粘土を焼いて作った土器で、古墳の上にならべられました。「埴輪」には大きく分けて、円い筒のような形をしたもの（円筒埴輪）と、人間・動物・家・さまざまな道具などの形をしたもの（形象埴輪）の2種類があります。

## えんとう 円筒はにわ

この博物館にある日本最大の「円筒はにわ」

今からおよそ1600年前のものです

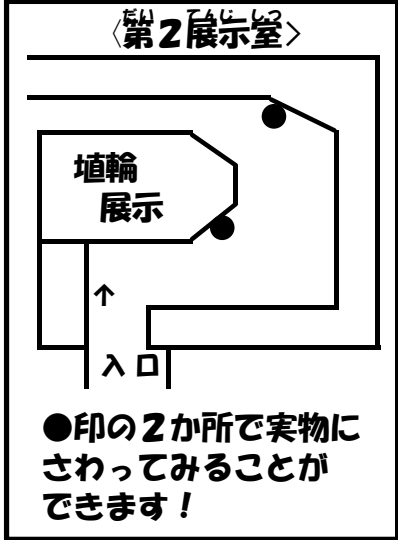


「円筒はにわ」の役割は何だろう？  
どうしてこんな大きなものを作ったのだろう？

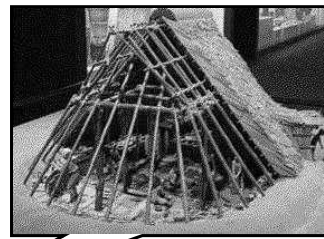
## 「円筒埴輪」にさわってみよう！

あなたがさわったのは、およそ1500年前の「円筒埴輪」の破片です。さわってみた感想を書きましょう。

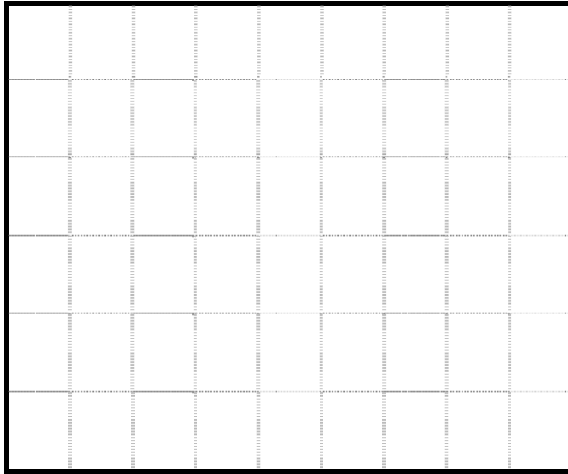
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....



けいしょう  
**形象埴輪**

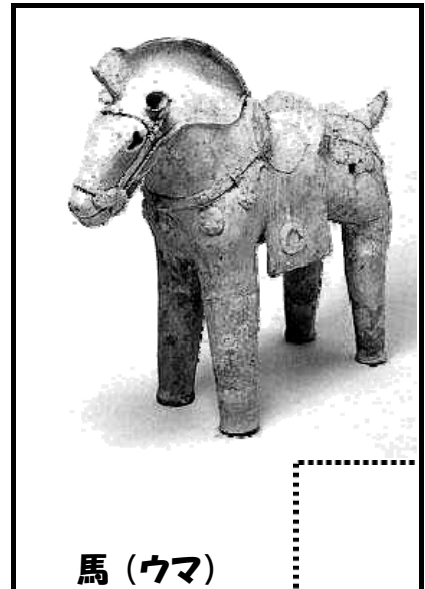
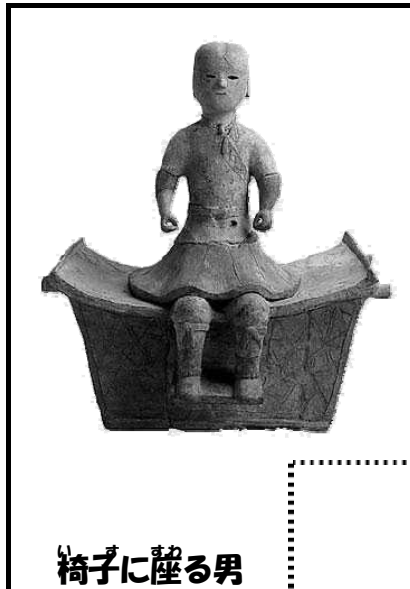
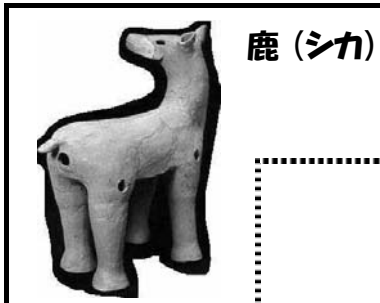


「<sup>いえがた</sup>家形埴輪」をひとつ選んで、スケッチしてみよう。



「<sup>くわ</sup>竪穴住居」と比べて、どんなところが違っていますか？

次の「形象埴輪」を「第2展示室」で探して、見つけたものには○を書きましょう。



さまざまな「形象埴輪」からわかる、当時のようすをまとめてみよう！

.....

.....

.....

.....

☆ 「埴輪」についてもっと知りたい人は「映像 (ビデオ) ライブラリー」にも行ってみよう！

「時代」 → 「<sup>こも</sup>古墳時代」 → 「はにわの動物たち」の順番に画面にタッチ